

東京都立大学 オープンユニバーシティ飯田橋キャンパスより 11月開講講座のご案内です!!

●こどもの声から考える

精神疾患のある親をもつ子どもへの支援 【講座コード：2531F005】

精神疾患のある親やともに暮らす子どもへの支援は、精神保健医療福祉の分野だけではなく、むしろ子ども家庭福祉分野や学校・幼稚園などで子どもの教育にたずさわる人々にとって、対応を考えさせられる関心事となってきました。

本講座は、精神疾患のある親の方や、共に暮らす子どもへの支援に実際に従事している対人援助職（教員・保育士・福祉職・心理職・行政職員等）の方を主対象に想定したものです。1コマ目では、「こども」への調査研究から明らかになった基本となる考え方をご紹介します。お昼を挟んで2コマ目では、「こども」や「親」の視点に立って支援を再考する方法をご紹介します。「こども」や「親」の立場の当事者の方のご参加も可能です。

●精神疾患のある親を持つ子どもの「困りごと」と助ける

なった「支え」―「子ども」の経験の人たちの声に基づいて

●精神疾患のある親と暮らす子どもへの支援を再考する
一当事者の立場から考える「あたかも」事例検討会を交えて

講 師：田野中 恭子 佛教大学 保健医療技術学部
看護学科 准教授 保健師 CAMPs代表
長沼 葉月 東京都立大学 人文社会学部
人間社会学科 教授 公認心理師
精神保健福祉士

日 時：11月29日(土) 10:30~14:30 (全1回)

受講料：5,000円

場 所：飯田橋キャンパス (対面)

●宇宙、原子核・ハドロン、そして素粒子

―極大の世界から極小の世界―

【講座コード：2531G001】

この講義では、最も小さな単位である「素粒子」から、私たちの体を形づくる「原子核」や「ハドロン」、さらにはその果てに広がる最大スケールの存在「宇宙」までを、旅するようにたどっていきます。ミクロからマクロ、自然界のあらゆるスケールにわたる現象を、基礎物理の視点から統一的に紹介します。「構成要素の最小単位は何か?」、「質量とはどのように生まれるのか?」、「力とは何か?」、「原子核やハドロンは、どのように構成されているのか?」、「宇宙はいつ、どのように始まり、どのように進化してきたのか?」そして、「いまだ理解されていない“未知”とは何か?」

こうした問いに対して、現代物理学がたどりついている最先端の理解を、理論、加速器実験、天文観測の成果とともにやさしく解説していきます。

●第1回 「初期宇宙史と粒子」

●第2回 「宇宙を構成する素粒子とその相互作用」

●第3回 「原子核・ハドロン物理の世界」

●第4回 「実験で探る素粒子の世界」

講 師：殷 文 東京都立大学 理学研究科准教授
北澤 敬章 東京都立大学 理学研究科助教
兵藤 哲雄 東京都立大学 理学研究科准教授
汲田 哲郎 東京都立大学 理学研究科助教

日 時：11月1日(土)、8日(土)、22日(土)、29日(土)
14:00~15:30 (全4回)

受講料：10,100円

場 所：南大沢キャンパス (対面)

* 講座の概要については、東京都立大学オープンユニバーシティパンフレットより引用しております。(特別区協議会事業部)

※特別区職員互助組合員の方は初回のみ、必ずお電話で同組合員である旨と『組合員番号』をお申し出ください。

<問い合わせ先>

東京都立大学オープンユニバーシティ <https://www.ou.tmu.ac.jp>

Tel.03-3288-1050 (平日 9:00~17:30)

●パンフレットを無料送付いたします。